

多様化する家族と新しい墓制・葬送のカタチ

安藤 喜代美 (名城大学 人間学部)

1. 背景と目的

祖先崇拝の宗教観をもつ日本では、お墓は家族のものであり、拝む対象でもある。この意識が1980年代以降、「個人化」「多様化」という現象の中で変化している。家族における個人化は、家族形成において個人の選択が可能となり(目黒1989)、家族成員は個人として家族の選択が可能となる(山田 2014)。いつ、だれと(同性同士も含む)家族を形成するか、法的な婚姻か、子どもの数は、はたまた、家族を解消する離婚、再形成する再婚も個人の選択となる。どのような選択を重ねたとしても、個人としての終焉は死であり、墓制のカタチが家族の在り方を示す一つであり、この点においては、人種・民族を問わず同様であろう。本研究は、日本人の家族観を墓制の選択から捉えるものであり、をジェンダー、少子化、離婚・再婚の増加、同性婚など多面的な視点で、死去する側と残る側の意識から、今後の墓制・葬送のカタチを検討する。

2. 研究方法

近年に登場した新しい墓制と現代家族の変動との関係について井上(2003)は、森岡(1993)が提起した3期区分における家族の変動に墓制の変化を平衡させているが、そこに両者のタイムラグを想定している。第I期の集団的家族(1945～50年代)から第II期の夫婦家族制(1960～70年代)への移行の結果、1980年代後半の「両家墓」の登場であり、「脱家現象」である。1990年代以降、第II期から第III期(1980～90年代)は個人化への移行であり、墓制における第二の変化が生じ、「墓の脱継承」が特徴となる。永代供養、樹木葬、散骨などがその例である。本研究では特に、こうした動向が顕著となる2000年以降に注目し、新聞記事から潮流を把握する。次に、名古屋市や横浜市が実施した墓地に関するアンケート調査の結果と過去に自身が実施した複数の墓地関連の調査結果を参考とし、葬送・墓制のあたらしいカタチは誰のための選択かで、また、そのカタチが残る者にとっての負担軽減となるのか、その負担とは何なのかを考察する。

3. 葬送・墓制の選択

去る側、残る側に重視されている墓制選択は、残る側の負担とならないことである。去る者は残る者に負担とならないようにという理由で永代供養を選択するが、「永代供養」は寺院による永遠の供養でもなく、寺院との関係性が無でもない。残る側に「負担にならない」とするならば、カタチを残さない散骨、樹木葬がベストであろう。共同墓・合葬墓も納骨堂も永代供養とするのが一般的で、一定の契約期間においては、所定の場所に遺骨が納められるカタチで、直接的なお墓等の管理は無いが、仏事等に関する諸事は想定される。それを負担とみるかどうか。また、お墓等を購入・維持費は安価ではないため、経済的負担ともなる。近年、墓碑に「〇〇家之墓」「〇〇家先祖累代之墓」などと刻まず、故人の想いを刻むケースも増えている。承継への義務感の軽減なのだろうか。そうであれば、残る側に承継という負担が湧らぐであろう。また、宗派を問わず永代供養のカタチで個人や夫婦単位で利用できる納骨堂が多く建設されている。こうした傾向は、横村(2005)が指摘する「共同化」「無形化」「有期限化」から検証できる。「共同化」は、血縁関係によらない人々のお墓を一つにする合葬方式であり、個人単位による継承が必要ない。「無形化」は、遺骨を海や山に撒き散骨や山林に遺骨を骨壺に入れずに埋葬して樹木や草花を植える樹木葬などの自然葬であり、カタチを残さない。合葬墓・合同墓では樹木を植えるなどし、土中に骨壺を合葬する、自然葬と墓地を融合させたカタチで樹木型墓地と呼んでいる。共同化で管理義務はなく無縁化はおこらない。「有期限化」は永代供養のことであり、納骨堂方式が多く、一定期間の後は合葬する。合葬墓・合同墓も永代供養の形式が多く、有期限となる。これらの3つの条件下で葬送・墓制の新しいカタチを選んだとしても、残る家族はお墓参りをするであろうが、それを負担とを感じるだろうか。負担とした場合、公共交通機関の便宜性が悪いという理由によることが多い。この点において負担とは、お墓等が近隣にないことである。つまり、お墓参りが前提となっている。墓じまい、改葬もお墓参りの時間軽減策のようである。残る側の負担が少ないとされるカタチが普及しているように見えるが、アンケート調査の結果では従来の角柱型墓石を望む人が多い。こうした伝統型思考は男性の方が強い。名古屋市や横浜市の大都市圏でも、葬送・墓制の選択は伝統的なようで、マスコミ等の報道と実態に開きを感じる。しかし、今後、団塊の世代が去り、少子化、非婚化、離婚の増加という社会環境では、葬送・墓制は個々のライフコースに融合するカタチが選択されるのではないだろうか。そこには、残る側もない可能性もある。

(キーワード：葬送・墓制、永代供養、多様化)